

こんにちは！池多小学校のあり方協議会です。

8月22日(木)に古沢地区センターにおいて第3回協議会を古沢小学校のあり方協議会と合同で開催し、学校統合の議論が先行している浜黒崎校下自治振興会長の渡辺正蔵様より講演をいただきました。



### ◆学校統合の議論が先行している浜黒崎地区の渡辺自治振興会長による講演会◆

浜黒崎地区における統合の方針決定までの経過について、そこに至るまでの経緯や思いなどをお話いただきました。また、本協議会委員からの質問に対し、的確なアドバイスをいただきました。

- ・地域から小学校が無くなると、地域が衰退してしまうと反対意見があったが、そういう方には、地域の問題と子どもたちの教育環境の問題とは分けて考えようと申し上げた。
- ・あり方協議会の設立当初、委員の半分は統合に反対だったが、大広田小学校の見学会を機会に考えが変わり、「大広田小学校のような活気のある学校に通わせたい」という委員が出てきた。
- ・「子どもは家庭で育て、学校で鍛(きた)え、地域で磨(みが)く」という言葉がある。学校は鍛える場所であり、ある程度大人数の中で多様性にふれ、困難を乗り越えながら育っていくのが、本来あるべき子どもの姿ではないか。
- ・地元地域では、統合校名をどうするのかという意見があったが、早期に子どもたちの教育環境を整えることを最優先に考えると、大広田小学校のままでいいという結論になった。
- ・今では、統合するなら、1日も早くという意見が多くなっている。



#### 講師

浜黒崎校下自治振興会  
会長 渡辺 正蔵 様  
「浜黒崎小学校のあり方協議会」の会長、「浜黒崎小学校・大広田小学校統合検討協議会」の副会長を務められ、地域住民の意見集約や大広田小学校区との協議を進めておられます。

## 講師への主な質問とその回答

**Q. 学校が無くなることで、地域衰退につながる可能性があると思うが、何か対策はしているか。**

地域の衰退は大人の責任であり、学校の問題とは別にどうやって地域を活性化していくのかを考えるべきだ。ひとつの方策として、浜黒崎地区では学校統合の方針決定後に、地域活性化協議会を立ち上げ、地域の活性化策や要望の取りまとめなどについて議論を始めている。

**Q. 学校統合という難題をここまで順調に進めてこられた要因は何か。**

委員がそれぞれの団体で、統合した方がよいのではないかと話をしてきていたからだと思う。また、地域にとって大変重要なことを決めるにあたり、「地域で色々な意見を言われたら、どう答えたらいいのか」と心配する委員もあり、「言いたいことがあれば、会長である私に言うよう伝えてください」とモチベーションを維持できるように配慮してきた。

**Q. 学童保育も大広田小学校に統合されることになるか。**

大広田小学校の学童保育のスペースに限りがあるため、統合後も当面の間、浜黒崎小学校の学童保育を利用できるようにお願いしている。

**Q. スクールバスの議論の状況は？**

統合にあたっては、必ず浜黒崎小学校区の児童のためにスクールバスを運行することを条件にしており、現在、バスの乗降場所や運行ルートなどについて、富山市教育委員会と議論を進めている。

## 感想や意見など

・浜黒崎地区では地域活性化協議会を立ち上げ、地域活性化について議論しているという話を聞いて、学校が統合した後、地域をどうしていくかという課題にむけて、大変参考となった。

・次のステップに進めていくにはどうしたらよいか、統合相手として検討している近隣の校区とどのように話を進めていけばよいかを教えていただいた。

・子どもたちの教育環境をまず第一に考えて、大体方向性が決まったら、次は地域活性化協議会で地域のことを考えていくという2段階の議論の進め方があったことが今回共有できた。

## ◆学校見学会について◆

古沢小学校のあり方協議会の皆さんと一緒に隣接する小学校を見学することとしています。

○実施予定日:令和6年11月14日(木)

○見 学 先:富山市立老田小学校



### ◆問い合わせ先(当協議会の事務局)◆

富山市教育委員会事務局 学校再編推進課(担当:高岡・大関)

○所在 富山市新桜町6番15号 Toyama Sakuraビル7階

○電話 076-443-2241 ○FAX 076-443-2194

○E-mail gakkousaihen@city.toyama.lg.jp

※本協議会の模様は市ホームページ(右記QRコード)にて公開しています。



協議会の内容はこちらから